［募集代理店］ 三井住友信託銀行株式会社

NEWアダージオSTB

変額個人年金保険Ⅱ型2003
＜10年運用コース＞

特別勘定の月次運用レポート
2026年10月末現在

〇市場概況
〇特別勘定の運用状況
〇組入投資信託の運用レポート

変額個人年金保険のリスクと手数料について

●変額個人年金保険は一時払保険料をファンドで運用します。ファンドの主要投資対象である投資信託は、国内外の株式・債券等で運用しており、運用実績が保険金額や資産残高・将来の年金額等の増減につながるため、株価や債券価格の下落、為替の変動により、資産残高、解約払戻金額は払込保険料を下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。

●変額個人年金保険は預金等ではなく、預金保険制度ならびに投資者保護基金の対象ではありません。
●解約、一部解約（特別引出を除く）をした場合や年金受取開始日以降に年金を一括受取する場合等には、一時払保険料相当額の最低保証はありませんので、受取総額が一時払保険料相当額を下回ること（元本割れリスク）があります。
●保険関係費用：ご契約の新規成立・維持等や死亡・災害死亡の保障等をするための費用です。運用期間中、資産残高に対して年率2.36%の割合で資産残高から毎日控除されます。
●運用関係費用：ファンドの運用にかかる費用です。主にファンドが投資する投資信託の信託報酬で、信託財産に対して年率0.44%（税抜年率0.40%）程度の割合で信託財産から毎日控除されます。運用手法の変更等の理由により将来変更される可能性があります。
●年金管理費：年金支払の管理にかかる費用です。年金の受取期間中、年金額に対して1%の割合で責任準備金から年金受取時に控除されます。
●解約控除：ご契約日および増額日からその日を含めて7年未満の解約、一部解約（特別引出を除く）をした場合にかかります。ご契約日からの経過年数に応じて、解約控除対象額※の7%～1%の割合で解約日の資産残高または一部解約請求額から控除されます。
※解約控除対象額は、解約の場合は一時払保険料相当額、一部解約の場合は一部解約請求額と一時払保険料相当額のうちいずれか小さい方の金額となります。なお、過去に一部解約があった場合はその際の解約控除対象額が一時払保険料相当額から差し引かれます。

＊この商品にかかる費用の合計額は、「運用期間中の費用（「保険関係費用」「運用関係費用」）」と「年金受取期間中の費用（「年金管理費」）」の合計額となります。また、特定のお客さまには「解約控除」がかかります。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

［引受保険会社］ オリックス生命保険株式会社
本商品につきましては、新規のご契約のお取り扱いを行っておりません。
ただし、既に本商品をご契約されているお客様につきましては、ご契約後の各種手続のお取り扱いを行っております。

（管）ORI-031

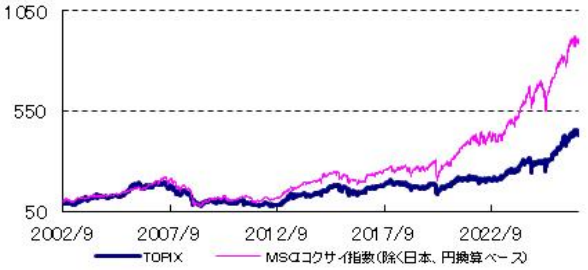
市　　場　　概　　況

	代表的な指標の騰落率	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
日本株式	日経平均株価	▲ 5.19%	▲ 1.67%	6.76%	20.76%	105.10%
	TOPIX（東証株価指数）	▲ 3.49%	▲ 0.95%	6.38%	19.01%	75.93%
日本債券	NOMURA－BPI総合	1.76%	0.48%	▲ 0.65%	▲ 5.23%	▲ 9.22%
外国株式	MSCIコクサイ指数（除く日本、円換算ベース）	0.78%	0.33%	5.24%	14.87%	89.25%
外国債券	FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）	1.34%	▲ 2.02%	▲ 2.81%	1.80%	22.57%
外国為替	米ドル対円為替レート（仲値）	0.12%	▲ 1.98%	▲ 1.78%	2.23%	5.37%

日経平均株価(円)の推移



日本と外国の株式市場パフォーマンス推移

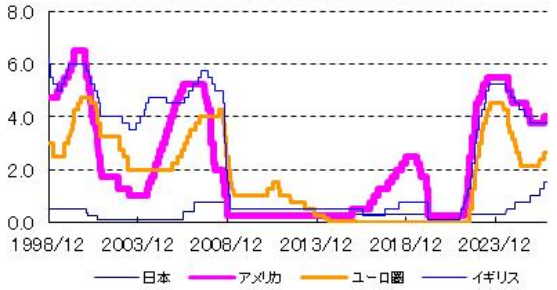


＊上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

日本の国債利回り(%)の推移



先進各国の政策金利(%)の推移



日本と外国の債券市場パフォーマンス推移



＊上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

外国為替レート(円)の推移



全てのデータの出所はBloomberg、野村総合研究所です。NOMURA-BPIとは、日本国内債券市場で発行されている代表的な公社債の流通動向を的確に表す投資収益指数です。当指数は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社によって計算、公表されている、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社の知的財産です。なお、同社は、当指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。MSCIコクサイ指数とは、MSCI Inc.が所有する株価指数で、世界の主要先進国の株式市場の動きを捉える基準として、広く認知されているものです。FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

※運用状況については、組入投資信託の運用レポートをご覧ください。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

特別勘定と主な投資対象の投資信託

特別勘定と主な投資対象の投資信託

特別勘定	運用資産				主な投資対象の投資信託	運用会社	資産配分(%)		資産合計
	株　式		債　券				投資信託	現預金その他	（百万円）
	日本	外国	日本	外国					
世界バランスファンド25 ST	●	●	●	●	バランス 25VA2＊	三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社	98.6%	1.4%	208

＊適格機関投資家専用に設定される投資信託です。

投資信託の運用方針

主な投資対象の投資信託	運用方針
バランス 25VA2＊	各資産ごとのマザーファンドへの投資を通じて、国内外の株式・債券へ分散投資します。各資産への投資は、基準ポートフォリオに基づいて行います（基準ポートフォリオは国内株式12.5%、国内債券15%（3～5%の短期金融資産を含みます）、外国株式12.5%、外国債券60%で基準配分します）。

＊適格機関投資家専用に設定される投資信託です。

特別勘定 ユニットプライスと収益率の推移



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	0.48%	−2.24%	−1.58%	2.14%	20.51%	68.11%

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界バランスファンド25 ST

【特別勘定が投資する投資信託】
バランス25VA2（適格機関投資家専用）
【運用会社】
三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

主要投資対象

日本を含む世界の公社債や株式。主に「国内株式インデックス マザーファンド受益証券」、「国内債券インデックス マザーファンド受益証券」、「外国株式インデックス マザーファンド受益証券」および「外国債券インデックス マザーファンド受益証券」を通じて投資が行われます。

運 用 方 針

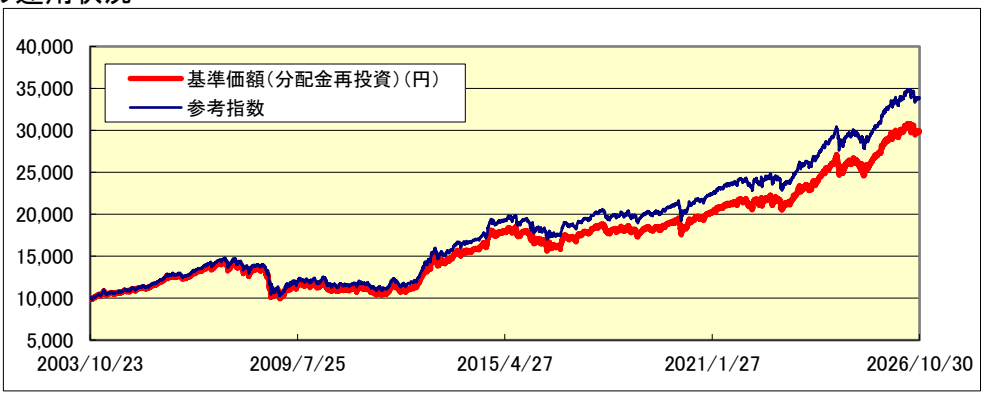
各資産ごとのマザーファンドへの投資を通じて、国内外の株式・債券へ分散投資します。各資産への投資は、基準ポートフォリオに基づいて行います（基準ポートフォリオは国内株式12.5%、国内債券15%（3～5%の短期金融資産を含みます）、外国株式12.5%、外国債券60%で基準配分します）。

2026年10月30日現在

①当月末基準価額

基準価額	既払分配金(税引前)	純資産総額
29,778　円	60　円	205　百万円

②当ファンドの運用状況



※お客様本位でわかりやすい情報開示を行うために、2023年6月末基準より、株式を投資対象とするファンドの設定来からのベンチマークおよび参考指数を、ファンドの運用成果により近い「配当込み指数」に統一しました。

（単位：%）

【騰落率】	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
当ファンド	0.69	−1.76	−0.40	4.65	30.29	198.94
参考指数	0.74	−1.04	−0.09	5.03	32.13	239.22
差	−0.05	−0.72	−0.31	−0.38	−1.84	−40.28

【資産構成比と基準価額貢献度（月次）】

（単位：%）

資産	月末時価構成比	基本資産配分	差	基準価額騰落貢献度
国内株式	12.2	12.5	−0.3	−0.44
国内債券（短期金融資産込）	15.1	15.0	0.1	0.26
外国株式	12.5	12.5	−0.0	0.11
外国債券	60.3	60.0	0.3	0.85
その他	−	−	−	−0.10
合計	100.0	100.0	−	0.69

（注1）グラフデータは設定日から基準日までを表示しています。また、基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
（注2）参考指数は各組入資産のベンチマークを指数化したものに、その資産の基本資産配分を乗じたものの合計を、当初設定日を10,000として指数化した合成インデックスです。
（注3）騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
（注4）「基準価額騰落貢献度」の「その他」は、信託報酬、基本資産配分比差異効果及び資金流出入要因他です。
（注5）運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界バランスファンド25 ST

【特別勘定が投資する投資信託】
バランス25VA2（適格機関投資家専用）
【運用会社】
三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

主要投資対象

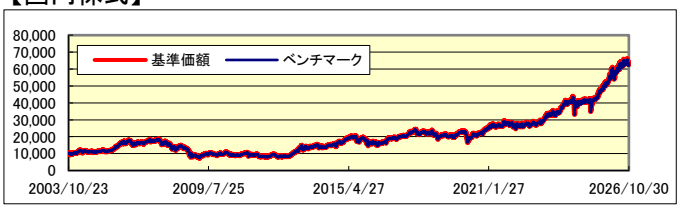
日本を含む世界の公社債や株式。主に「国内株式インデックス マザーファンド受益証券」、「国内債券インデックス マザーファンド受益証券」、「外国株式インデックス マザーファンド受益証券」および「外国債券インデックス マザーファンド受益証券」を通じて投資が行われます。

運 用 方 針

各資産ごとのマザーファンドへの投資を通じて、国内外の株式・債券へ分散投資します。各資産への投資は、基準ポートフォリオに基づいて行います（基準ポートフォリオは国内株式12.5%、国内債券15%（3～5%の短期金融資産を含みます）、外国株式12.5%、外国債券60%で基準配分します）。

③資産（マザーファンド）毎の運用状況

【国内株式】



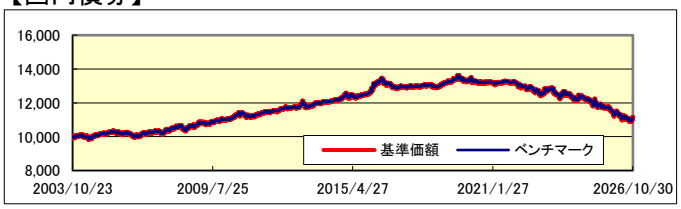
（単位：%）

＜騰落率＞	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
マザーファンド	−3.49	−0.04	7.53	21.69	88.76	526.85
ベンチマーク	−3.48	−0.04	7.54	21.71	88.79	521.27
差	−0.01	0.00	−0.02	−0.02	−0.03	5.58

＜市場の動き＞

国内株式市場は下落しました。月上旬は、米ハイテク企業の好決算や、米早期追加利上げ観測が後退したことなどから上昇したものの、その後中東情勢の緊迫化やAI（人工知能）投資の持続性や収益性に対する懸念などを受けて、AI・半導体関連銘柄を中心に下落に転じました。下旬には、一時、米半導体株の反発を受けて上昇する場面もありましたが、月末にはAIへの過剰投資懸念などから下落して終えました。

【国内債券】



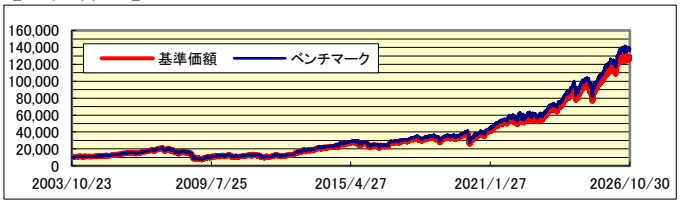
（単位：%）

＜騰落率＞	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
マザーファンド	1.76	0.49	−0.64	−5.22	−9.22	11.30
ベンチマーク	1.76	0.48	−0.65	−5.23	−9.22	11.43
差	0.01	0.02	0.02	0.01	0.00	−0.14

＜市場の動き＞

国内債券市場では10年国債利回りが2.755%に低下（価格は上昇）しました。AI（人工知能）関連投資の収益性への懸念やフランスの財政悪化懸念を背景に、安全資産として日本国債が買われました。米国債利回りの低下や堅調な国債入札も相場を支える要因となりました。月末の日銀金融政策決定会合では事前予想どおり政策金利が据え置きとなり、市場の反応は限定的でした。

【外国株式】



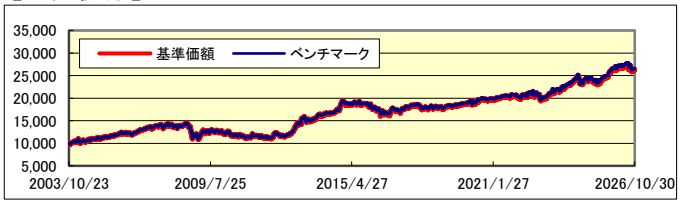
（単位：%）

＜騰落率＞	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
マザーファンド	0.89	0.62	6.00	16.46	98.01	1,177.53
ベンチマーク	0.85	0.65	6.03	16.68	99.36	1,282.01
差	0.04	−0.03	−0.04	−0.23	−1.35	−104.47

＜市場の動き＞

米国株式市場は下落しました。月前半は、米雇用統計の予想比下振れなどで早期追加利上げ観測が後退し、上昇しました。月後半は、AI（人工知能）投資の持続性や収益性への懸念の高まりや大手ハイテク企業の決算への失望から、下落しました。
欧州株式市場は上昇しました。月前半は、フランスを起点とした欧州各国の長期金利上昇が重石となり、弱含みました。月後半は、好決算銘柄を物色する動きが強まり、上昇しました。

【外国債券】



（単位：%）

＜騰落率＞	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
マザーファンド	1.41	−3.04	−3.02	1.68	21.91	163.40
ベンチマーク	1.34	−2.02	−2.81	1.80	22.57	166.88
差	0.07	−1.02	−0.21	−0.13	−0.66	−3.48

＜市場の動き＞

米国10年国債利回りは、4.929%に低下（価格は上昇）しました。AI（人工知能）関連投資の収益性への懸念やフランス財政不安を背景とした安全資産需要、FRB（米連邦準備理事会）の利上げ見送りなどを背景に米国債が買われました。
ドイツ10年国債利回りは、3.322%に低下しました。フランスの財政不安などを背景に投資家の安全資産への選好が強まりました。

＜各資産のベンチマーク（グラフはバランス25VA2の当初設定日を10,000として指数化し、設定日から基準日までを表示。）＞
国内株式：TOPIX（東証株価指数）（配当込み）　　外国株式：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）
国内債券：NOMURA-BPI 総合　　外国債券：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。